

第297回 番組審議会

1. 日 時 令和3年 1月 12日 (火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲東の間」
3. 委 員 委員総数 8名
出席委員数 6名

○ 出席委員 (敬称略)

鈴木 厚人 (委員長)

—以下50音順—

石田 征広

佐々木 泰司

平野 順子

八木橋 伸之

○ 会社側出席者

高嶋 昇 (常務取締役)

一戸 俊行 (取締役報道局長)

君澤 温 (取締役総務局長)

佐々木 雄祐 (報道部担当部長)

○ 事務局 梨木 祐亮

大場 薫

4. 議題 m i t 報道特別番組

「岩手コロナ禍の1年～県民はどう向き合うべきか～」

放送日時：令和2年12月28日（月）14：45～15：40

5. 議事概要

今回は、12月28日（月）に放送された『岩手コロナ禍の1年～県民はどう向き合うべきか～』について審議しました

●岩手めんこいテレビ報道部担当部長佐々木からの説明

- ・複雑になりがちな情報をわかりやすく多くの人に伝える工夫、感染対策委員会委員長の桜井教授との信頼関係でかなった番組であるなどについて説明がありました。

●出席した委員からの意見

- ・正面から課題に向き合っていて、報道特別番組に恥じない番組であった。
- ・感染拡大に関わった店名の公表を報道ではどう扱ってきたのか知ることができ、参考になった。
- ・他人事ではなく、形式的ではなく、冷静に対応する姿勢を促すという点でいい番組であった。
- ・新型コロナウイルスのPCR検査キットセルスペクトについて個人や企業でどう扱っていくべきか、活用法をもう少し深掘してほしかった。

●委員からの質問、意見に対する会社側からの回答

- ・特別番組という枠の中では、県外の事例とかについても、より視野を広げてご紹介出来るような視点を持ち、本日いただいたご意見を、次回以降の番組に活かしていきたいと思えます

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※令和3年1月13日（水） 産経新聞 東北版

※令和3年1月23日（土）午前4時42分から4時45分まで「めんこいテレビ番審りレポート」として放送

※据え置き書類を作成し、本社受付、各支社に備置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

9. その他の参考事項

特になし

※次回は、令和3年2月9日（火）12時よりメトロポリタン盛岡
NEW WING 3階「星雲東の間」にて開催予定です。